

スポーツファミリー



なみすけ © SUGINAMI CITY

発行/杉並区区民生活部スポーツ振興課 〒166-8570杉並区阿佐谷南1-15-1 電話3312-2111 編集/スポーツ推進委員広報委員会 令和3年9月30日発行

コロナ禍のスポーツ推進委員活動報告 ～地域拠点活動～

地域拠点活動は、杉並区を3つのエリアに分け、地域の公園などで杉並区スポーツ推進委員が独自に考案した「スポーツデビュー」や「ウォーキング」などを活用し、スポーツをはじめのきっかけづくりをサポートしています。それぞれの地域でコロナ禍にこういった活動ができるかを模索している状態ですが、今回新しい活動の形をチームで話し合い実行した「チーム杉。」の活動を紹介いたします。

～「チーム杉。(チームすぎまる)」～ 荻窪・阿佐ヶ谷・高円寺エリア担当

「チーム杉。」は、コロナ禍で今までと同じ公園での活動ができなくなってしまったため、昨年度から、チーム内で会議を重ね、どのような形であれば、活動ができるかを試行錯誤してきました。コロナ禍でも遊びや運動が楽しめるように、手づくりの遊び道具などを提案した活動のチラシを作成し、今年度から近隣の学童クラブや児童館に直接配布をしました。そこで地域の方々と情報共有や意見交換を行いながら、コロナ禍の新たな地域拠点活動を実施することができました。

7月7日(水)
松ノ木小学校で
紙皿ディスク
づくり
を行いました。



的当てにチャレンジ!

8月19日(木)
松ノ木児童館で
紙皿ディスク
づくり
を行いました。



距離測定にチャレンジ!

8月24日(火)
杉並第七小学校で
紙皿・紙コップ
ディスクづくり
を行いました。



これからも「スポーツによる地域づくり」のために活動していきます!

☆参加・ご協力頂いている区民の皆様、いつもありがとうございます。☆

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/bunka/sports/1008052.html>



パラリンピック種目の実技研修

競技用車椅子



シッティングバレーボール



ゴールボール



杉並区スポーツ推進委員は、定例会議やイベントの企画会議だけではなく、ニュースポーツやパラリンピック種目を中心に実技研修なども定期的に行っています。今年度は新任委員が増えたため、8月に再度パラリンピック種目の実技体験研修を実施し、競技のルールなどの理解を深めました。また、競技の特性やルールを理解したうえで、身近な用具を使用し、誰もが楽しめるようなパラリンピック競技のアレンジ種目を考案中です。今後はスポーツファミリーでもアレンジ種目を紹介していきたいと思っています。

私、スポーツ推進委員です！！ よろしくお願ひします

結婚を機に杉並に引っ越してきて、地元の卓球クラブに所属しています。チームメイトとの関わりを通じて地域のことをもっとよく知りたいと思うようになり、体を動かしながら活動できる場はないかと調べていたところ、スポーツ推進委員を知りました。

体を動かすことを通じて地元を好きになり、より愛着が湧くと良いなと思っています。小さい娘がおり毎日楽しく過ごしながらスポ推活動も続けています。子育て世代の方もできる活動だと思うので、一緒に活動してみたい方はぜひ一度（スポーツ振興課まで）ご連絡を！



中村 浩一

スポーツ推進委員になったきっかけは、すぎなみ大人塾で先輩から話を伺ったことです。

定年退職を機会に、少しでもお手伝いができればと思い応募しました。

仕事と家事や子育てに追われていた時期に、スポーツの苦手な私が卓球やテニス、水泳などさまざまなスポーツに親しむことができたのも、地域のボランティアの方々のおかげです。

コロナ禍で難しい時期ですが、運動が不足しがちな働きざかりの人たちもスポーツを楽しんでいただけるように、活動していきたいと思っています。



藤本 逸子

8年間スポーツ推進委員を行なっています。全区事業の老若男女が楽しめる「ファミリー駅伝」にも当初から実行委員として携わっています。また小学校の学校支援本部と連携し、春に「家族でハイキング」を地域拠点活動として開催しています。

体を動かすこと、運動をすることは、生活を支える健康面や精神面で大事なことだと活動を通し感じています。運動するきっかけが無い方等へ、運動に興味を持って頂けるようにと活動を行なっています。

今期はコロナ禍の中、イベントの中止も多く、なかなか運動がしにくい環境となっていますが、この機会に区民の皆様にも少しでも活動を知ってもらい、是非この活動に興味があれば事業に参加していただきたいと願っています。



翠川 秀雄

私は高円寺地域のジュニアスポーツクラブの運営に長年かかわってきました。10年ほど前にスポーツ推進委員の募集を知り、ジュニアスポーツクラブ運営の経験を活かせないかと思い応募しました。

スポーツ推進委員になって感じたことは、スポーツに興味はあるが実際にはスポーツをしていないご家庭があまりにも多いということです。

自分でスポーツをやってみると楽しいけれど、様々な事情があり、なかなか継続してスポーツを続けられないのが現状のようです。

私はこれから子供たちがスポーツをする喜び、楽しさを味わうためのお手伝いをしていきたいと思っています。



武藤 喬行